



小田川

道

2020年5月1日
(第57号)

昔、高校生だった頃、「普通科に行けん子が商業科、次が工業」という声が耳に入った。工業科の僕はそうした風聞を知らないではなかったが、この言葉は、気の小さい僕のへ劣等感を増幅させて心の奥に住みついた。▼普通科を選んでおけば、女子と話を交わすこともない殺風景な学校生活で鬱々とすることはなかったであろうし、進学する際にもっと「いい」大学に入れたかもしれない。そんな取るに足らない後悔めいた思いが頭をもたげてきたものだ。▼だが、今の僕があるのは、倉敷工業高校に入って、藤野先生や石井さん、柚木君や中島君などと出会ったことが始まりのように思う。森田さんの誘いで日本福祉大学に進んだのが人生の方向を決めたのか。松田君の存在は大きかった。斎藤君は今どこで何してる。教員試験を落ち続けた後に伊勢女子高校に勤めるようになったのは何の因縁であろう。西田さん、太田さん、同じAB型のおとめ座で、一緒によく飲んだ。▼高校電気科を出て「電気」に進まず、福祉大学なのに「福祉」の仕事に就けなかった。それが、紆余曲折を経て、いつの間にか「福祉」畑の住人。この間、一貫して、僕の中に居続けているもの、それがへ弱さ」とへ劣等感である。これらが、僕の在り方を指し示し、僕を生かしてくれている。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林道也



遠田
椋の木

※ 会えないなら、オンラインで会えばいい。これなら、遠くの人とも、茶の間で「飲み会」もできる。「コロナ」が教えてくれた。「ZOOM」「たくのむ」「LINE」などで。飲もうよ。